

オリンピック・パラリンピック競技等の主な評価内容

独立行政法人日本スポーツ振興センター

評価の観点	オリンピック競技等		パラリンピック競技等	
	内 容		内 容	
パフォーマンス(成績) 資源(有望選手)	①オリンピック競技大会の成績 ②アジア競技大会の成績 ③国際競技水準を最も反映する主要国際競技大会の成績 ④ジュニア世界選手権大会の成績	東京重点支援競技については、左記を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じた額を加算	①パラリンピック競技大会、デフリンピック競技大会、世界選手権大会の成績 ②対象大会の入賞者率 ③対象大会の参加選手数	東京重点支援競技については、左記を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じた額を加算
プログラム(強化活動の実行性等)	①強化活動の実行性 ②コーチ・指導者の養成・資質向上(女性アスリート支援含む) ③国際力強化のための人材養成・配置 ④情報戦略、医・科学分野の活動(アスリートに対する禁煙を促す取り組み含む) ⑤選手・指導者等の教育・育成 ⑥アンチ・ドーピング活動	S:30%程度 A:20%程度	①強化スタッフにおける認定のスポーツコーチ、スポーツ医、スポーツトレーナー及び医・科学・情報サポートスタッフの配置 ②アンチ・ドーピング活動、選手の教育、メディカルチェックの実施率、女性アスリート支援、国際力強化のための人材配置及びアスリートに対する禁煙を促す取り組み	20~30%程度
強化戦略プランの計画性・実行性	各競技団体の強化戦略プランの計画性・実行性(マイルストーン含む)の評価結果に応じて、パフォーマンス(成績)、資源(有望選手)及びプログラム(強化活動の実行性等)等を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じる A:120%、B:105%、C:100%、D:90% ※ オリンピック・パラリンピック競技に適用			
KPIの達成度	競技団体毎に設定したKPIの達成状況に応じて、パフォーマンス(成績)、資源(有望選手)及びプログラム(強化活動の実行性等)等を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じる A(達成):110%、B(概ね達成):100%、C(未達成):90% ※ オリンピック・パラリンピック競技以外の競技に適用			
組織体制(ガバナンス等)	各競技団体のガバナンス調査の結果等に応じて、パフォーマンス(成績)、資源(有望選手)及びプログラム(強化活動の実行性等)等を踏まえ算出した額に以下の割合を乗じる A(対応できている):100%、B(対応できていない):90% ※ 競技団体等による不適当な行為が平成30年度末までに判明したものは、その内容によって上記割合の適用を判断			